

ユニゾン Unison

No.37 令和5年6月発行

Unisonとは、音楽用語で一つの旋律を全部の音声が歌ったり演奏する意味から、すべての人が性にとらわれず、同じ立場で意見を主張できる社会の実現を願って名付けました。

★もくじ★

- 男女共同参画週間/輝く女性の今インタビュー————— ①
- LGBTQ/リプロダクティブ・ヘルスライツ
- ダイバーシティ社会について————— ②③
- お知らせ・募集————— ④

編集・発行 八潮市企画財政部人権・男女共同参画課
〒340-8588 埼玉県八潮市中央1-2-1
Tel 048-996-2111(☎内811)
Fax 048-995-7367
URL <https://www.city.yashio.lg.jp/>



令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

内閣府では、「男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ」をテーマに掲げ募集したところ、応募総数4,326点の応募があり、上記のキャッチフレーズが選ばれました。この1週間は、皆さんの「男女共同参画」を考えるきっかけになることを願います。



輝く！

女性の「今」を取材！

株式会社 山本商店 代表取締役社長 **田中 恵子**さん

八潮市大曾根で産業廃棄物収集運搬業を営む、株式会社山本商店の代表取締役社長である田中恵子さんにお話を伺いました！



Q：会社を経営していく上で、大事にしていることはありますか？

A：大事にしていることは「笑顔」です。現場などで特に重量物を扱う時は、一歩間違えれば命に関わる危険な内容もあるため、緊張感も大事ですが、始まりと終わりの挨拶は「元気に笑顔」を心がけています。

Q：山本商店さんや、やしお駅前公園で実施される八潮朝市で、不要になったぬいぐるみやおもちゃを回収し、海外へ送る事業を展開していますが、この事業を始めたきっかけを教えてください。

A：あるものを活かす「リユース」に着目したことが始まりです。特にぬいぐるみやおもちゃは、お子様の成長により不要になるサイクルも早く、まだ使えるものも多いです。日本では燃えるごみとして出されてしまうけれど、海外では需要がある。私たちが必要としている方々へのパイプ役となり、ぬいぐるみたちの第2のストーリーをつくることは、ぬいぐるみたちにとって良いことであり、燃えるごみとして処分されないのであれば、CO₂削減にもつながり、環境にも良い取り組みだと考えています。



▲左から2番目が田中さんです！



Q：月1で近隣の清掃活動を実施しているとのことですが、清掃活動の名称を「夢拾い」としている理由をお聞かせください。

A：ごみを拾って街がきれいになることで、みんなが幸せになり、そこに夢が広がっていくという考えからです。夢を持てる環境づくりが目標です。



Q：今後、山本商店さんで実施していきたい事業、夢があればお聞かせください。

A：農業に関わることをしたいと思っています。理想は循環社会、フードロス問題にも取り組みたいですね。さらに言えば、食育なども含んだ、農業を農産業として、全ての人が何らかの形で農業に関われる仕組みをつくりたいです。

Q：田中さんが仕事のやりがいを感じる時はどのような時でしょうか？

A：お客様からの「ありがとう」の言葉をいただいた時です！

— 田中さん、ありがとうございました☆
今後のますますのご活躍を期待しています！